

第 25 回 日本消化管画像研究会 研修会のお知らせ

「第 2 回：基礎セミナー」



日本消化管画像研究会会長 腰塚慎二

第 25 回研修会では、私たち診療放射線技師が知っていなければならない被曝管理、装置管理、日常管理に加えて、消化管造影検査に必要な精度管理、医療安全について、小人数の対話形式（寺子屋形式）で、学びたいと企画しました。今一度、基本に戻って、一緒に確認しましょう。

記

日 時：平成 26 年 8 月 23 日（土） 10 時 00 分～15 時 00 分
会 場：埼玉県立がんセンター 2 階 会議室および 1 階 X 線 TV 室
参加費：日本消化管画像研究会会員、日本診療放射線技師会会員 2000 円
上記以外の方 3000 円（新規加入の場合は参加費込みで 4000 円）
定 員：30 名（胃模型を使用します。必ず事前登録をお願いします。）
注）当日参加はできませんので、予めご了承ください。

プログラム

9 時 30 分～ 受付開始
9 時 50 分～ 開講挨拶～オリエンテーション（腰塚慎二、山入端薫）
10 時 00 分～ 第一講義：被曝管理（工藤安幸、結城朋子）
10 時 40 分～ 第二講義：医療安全（山入端薫、鶴沼清仁、滝井和歌子）
11 時 20 分～ 第三講義：日常管理（札元将史、青木 聡）
12 時 00 分～ 第四講義：装置管理（山崎富雄、村田雅弘、重松 綾）
12 時 40 分～13 時 30 分：昼食
（持参もしくは、院内にレストランおよびファミリーマートがあります）
13 時 30 分～ 第五講義：消化管検査の基礎（板谷充子、朝日和也、講師全員）
14 時 30 分～ 質疑応答（各担当者）
15 時 00 分 解散（平成 26 年 1 月オープンした新病院の施設見学もできます。）

- ・ 事前登録：日本消化管画像研究会 HP (<http://www.st-be.jp/index2.html>) の画面左にあります “ Mail ” より、施設名、氏名、メールアドレス、所属および会員の有無を記載の上、件名を「**基礎セミナー参加**」と記載して送信をお願いします。
- ・ 受信後担当より返信いたします。
- ・ 問い合わせ方法：事前登録と同様に、問い合わせの要件を記載して送信して下さい。

会場へ交通案内

埼玉県立がんセンター：〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780

アクセスは HP <http://www.saitama-cc.jp> で確認してください。

なお、駐車場は無料で使えます。

（実習形式なので、動きやすい服装でお願いします。）

第 25 回 日本消化管画像研究会「基礎セミナー」プログラム詳細

第一講義：被曝管理（上部・下部の被曝について単位から相談対応まで！）

消化管検査で受ける被曝線量をだまかに把握することを目的に講義します。医療被ばくのガイドラインで示されている入射表面線量としきい値に関わる臓器平均吸収線量、そして人体への影響の指標として実効線量の値とその関連性について説明します。

1 検査あたりの入射表面線量は、撮影 1 回の線量と透視線量率を把握し、撮影回数と透視時間を乗じて求めます。また、実際の被曝相談対応として事例を示して説明します。

第二講義：医療安全（検査説明）

自分たちが行う検査を本当に理解していますか？ 前処置から、造影検査、検査中の偶発例の対処から検査後に起こるかも知れない副作用に至るまで、本当に理解していなければ受検者（家族）に安全で適正な検査は行えないと思います。そして大切な家族に理解してもらえるよう、優しく、わかりやすく、説明しましょう。

第三講義：日常管理（当たり前前の管理できていますか？）

検査者の役割として「受検者の安全を第一とし、最適な線量でより良い画像を提供する」ことがあります。日常業務の中で装置の異常をいち早く発見するためにも、使用装置の状況を日々把握していくことが精度管理の第一歩と考えます。JSGI ファントム、管理シートを用いて、装置の日常管理方法について実践を含め説明します。

第四講義：装置管理（被曝し過ぎていませんか？受検者もそして検査者も）

電離箱タイプの測定器を使用し、実習形式で入射表面線量等の測定を行います。測定項目は①JSGI ファントムを使用した各種の透視線量率および撮影線量の測定、②付加フィルタ挿入時の①と同じ測定、③アクリル 18cm における散乱線測定、など研修施設先の機器の特徴を生かし、受検者や検査者の被曝低減につながる実習形式の測定を行います。

第五講義：消化管検査の基礎

“胃模型を使って基準撮影法を検証しよう ”

その検査は、十分な検査ですか？

何処を撮っているのですか？

そんな当たり前を理解して撮影をしたいですね。

いつもの写真を、胃模型を使ってストマップに

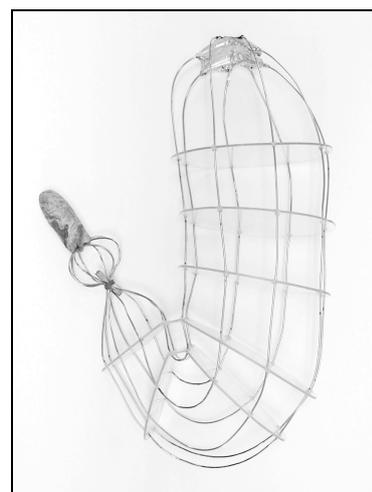
置き換えた時、本当にもれなく撮影していますか？

あなたの撮影は読影の「補助」に値していますか？

一緒に 1 枚の写真にこだわらしましょう。

写真（右）のような胃模型を使用します。

ただし、お持ち帰りできません（あしからず）。



皆様の参加をお待ちしています。